令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	60	学校名	静岡県立池新田高等学校	校長名	名倉 靖之
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	意見
ア	基礎学力定着とICT利活用、探究的な学習等の推進、学び合いの推進、ファシリテーション能力の育成	中学時と比べて基礎学力が向上したと実感する生徒 80%以上	79.9 %	A	目標値にわずかに届かなかったが、本校の教育活動の成果が表れている。十分な達成状況といえる。
		プロジェクト等のICT機器を活用した授業を行っている教員 80%以上	86.4 %	A	ICT機器の活用は年々進んでいる。生徒の成長を促す活用を今後も検討していきたい。
		学び合いの機会を設ける等の生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員 80%以上	95.2 %	A	授業と評価の一体化が進み、生徒理解に基づく授業改善が着実に進んでいる。
		学校の行事や活動は、生徒のアイデアを活かして運営されている生徒 90%以上	76.9%	B	生徒が主体となって運営できるような能力の育成とそれが実現できる環境が必要。
		先生は、私の気持ちや思いを良く受け止めてくれる生徒 80%以上	70.5%	B	教員が聴く力を高めるとともに、スクールカウンセラーなどと協力していきたい。
		私たちのクラスは、話し合い活動では、誰でも進んで意見を発表することができる生徒 80%以上	60.3%	B	ファシリテーション力の向上を目的とした校内研修での実践を次年度に生かしていきたい。
		読書活動を通して心が豊かになったという生徒 70%以上	50.7%	B	読書感想文も必須ではなくなったこともあり、読書量の減少が課題である。
		年間5冊以上本を読んだ生徒 50%以上	34.1%	B	クラス文庫を準備し、読書する機会を増やす試みを実施中である。
		他者の話をしっかりと聴くことができる生徒 80%以上	95.1%	A	教育活動全体において聴く姿勢を大切に指導している。
		身だしなみを自ら直す生徒 90%以上	92.4%	A	多くの生徒が制服をきちんと着こなしている。

イ	基本的な生活習慣の確立、池高スリーアローズの「認める力」・「律する力」・「やり抜く力」への理解と推進	自ら挨拶をする生徒 90%以上	90.5%	A	朝や日中にさわやかな挨拶ができて いる生徒が多い。
		自他の人権が尊重されて いると実感する生徒 90%以上	80.3%	B	人間関係のトラブルが数件ある。 人権意識を高める指導を継続し ていく。
		健康や安全に関する高い 意識を持つ生徒 80%以上	75.0%	B	けがや疾患などの“予防”の視点 も含めて、声かけなどを行ってい きたい。
		朝食摂取率 90%以上	83.6%	B	朝食の大切さは理解している様 子はあるが、行動に移っていか ないことが課題である。行動変容 に繋がるよう努めたい。
		登校し授業に参加する ことの大切さを理解 し、欠席・遅刻・早退 を減らすように心掛 けている生徒 80%以上	90.5%	A	各種集会やホームルームで、登校 することの意義を生徒に考えさ せた。また、欠席が多い生徒に対 して早めに対処できた。
		共生共育から学ぶこと が多いと実感する生徒 80%以上	69.3%	B	行事や授業、さらには部活動を通 じて、分校生徒との交流を行っ た。今後も、多様性について学ぶ 機会を大切にしたい。
ウ	個に応じた進路相談、3年間を見通した進学・就職指導体制の継続・改善	各種説明会やインター ンシップ等の進路指 導、行事が十分に行わ れていると答える生徒 90%以上	89.8%	B	市役所や商工会議所等の外部機 関と連携し、進路行事を運営す ることができた。
		一人ひとりに適した丁寧な 進路指導が行われて いると答える生徒 80%以上	84.8%	A	定期的実施する進路希望調査 をもとに、面談やチューター制 を通じて生徒一人ひとりに適した 丁寧な進路指導を行うことが できた。
エ	地域の自治体や企業、学校保護者等との連携、キャリア教育の推進、開かれた活力ある学校づくりの推進	地域探究活動を通じて、 地元に対する魅力を 発見し、働くことに やりがいや喜びを感 じることができた と答えた生徒が 80%以上	77.3%	B	学校行事の様々な場面で、地域 企業等の協力をいただきながら、 地域の魅力について発見するこ とができた。次年度は探究の時 間だけでなく、それ以外の場 面でも地域との連携活動を 増やしていきたい。
		PTA 総会出席率 50% 以上	48.3%	B	来年は平日開催を計画している。
		PTA 活動は生徒のため になっていると答 える保護者・教員 70%以上	79.3%	A	自主的に活動できるものも 取り入れていきたい。

オ	自己有用感の育成に向けた様々な場面での「指導と支援」体制の充実、学校行事や部活動、ボランティア活動等の活性化	部活動に積極的に参加する生徒の割合 70%以上	81.1%	A	各生徒が部活動へ意欲的に参加している。
		相談室が利用しやすいと感じる生徒 70%以上	58.7%	B	利用率自体は昨年度よりも増加した。相談室が身近に感じられるような取組を計画したい。
		支援を必要とする生徒の事例を共有し、チームで支援を行っていると感じる教員 70%以上	88.0%	A	スクールカウンセラーのフィードバック時に、関係職員を集めてケース会議を行うことができた。
		校内の環境美化に務める生徒 90%以上	90.9%	A	清掃への取り組みはよくできている。床などにごみを放置しないよう呼びかけを行いたい。
		学習支援ボランティア定員充足率 100%	100%	A	生徒の主体的な行動が見られよかった。
		地域貢献、地域活動に何らかの形で参加する部活動の割合 80%	53.8%	B	各部活動が模索しながら地域活動参加を試みている。
		生徒主体でしぶき祭や体育大会などの行事が行われていると答える生徒 80%以上	76.9%	B	生徒主導による行事進行をより行えるよう検討を重ねる。
		芸術鑑賞会を通して心が豊かになったという生徒 90%以上	81.9%	B	実施後のアンケートでは、概ね好評であった。来年度の演目について今後検討していく。
カ	人権教育の推進、教育環境の整備、防災・交通等の体制づくりや啓発、教職員の健康維持	いじめが原因となった不登校 0件	100%	A	大きないじめとなっていないが、いじめに発展することがないように日頃から注視する。
		先生を信頼する生徒 70%以上	71.6%	A	教員が生徒に対して真摯に接し、信頼を得ている。
		重大な交通事故 0件	100%	A	大きな事故なく過ごせている。
		施設・設備は安全に管理され使いやすく整備されていると答える生徒の割合 80%以上	72.7%	B	異常への速やかな対応を行うとともに、予算がないからではなく、古いながらも使いやすくするにはどのようにすればよいか、再度検討をしたい。

様式第3号

		防災訓練により避難行動を理解し、防災意識も高まっていると答える生徒 80%以上	70.5%	B	地域と連携し、より実践的な訓練にしていきたい。
		地域防災訓練に参加したと答える生徒 60%以上	39.4%	B	呼びかけ方法を工夫した。
キ	働き方改革の推進、同僚性を育む職場環境づくりの推進、広報活動の充実	本校の広報活動等が学校選択の際の参考となったと答える新入生 80%以上	76.2%	B	学校評価アンケート(生徒用)項目Bに基づいた数値である。80%を上回るよう工夫したい。
		監査指摘事項 0件	100%	A	引き続き指摘事項0件を目標としたい
		職員室施錠時間 20時30分以前	52.6%	B	調査対象の勤務日190日のうち20:30以前の退勤日100日、60%を上回るよう呼びかけたい。
		県実施調査のストレス値(学校全体)が県の平均値を下回る	全国平均100 県平均83 本校平均78	A	数値が低いほうが良好であるが、左記のように本校は「全国-22」「県-5」の指数で良好である。
		一日体験入学、オープンスクール、学校説明会での中学生、保護者の満足度 90%以上	一日体験入学：100%、 オープンスクール：99.3%	A	入学者数増加のため、来年度に向けて内容の充実を図っていきたい。